

糖尿病連携手帳について

1. 糖尿病連携手帳とは

日本糖尿病協会が発行しています。患者さん・家族と、関係機関が検査結果や治療方針を共有でき、糖尿病連携をスムーズに行うための大切な手帳です。

2. いつ使用するの？

・外出時に保険証・お薬手帳と一緒に携帯しましょう。**特に病院受診時には、持参しましょう。**

体調が悪くなった場合「糖尿病連携手帳」があると、救急隊員や医療関係者が迅速に対応できます。

・病院・かかりつけ医・眼科・歯科・薬局・栄養士・市町の保健師・ケアマネージャー等にも、**必ず連携手帳を提示しましょう。**一緒に治療を見守り支援していきます。

3. 手帳は持つだけで良いの？

まず基本情報を書きましょう！ 合併症などの身体状況やかかりつけ医、緊急連絡先など一目でわかるようになっています。受診で検査を行った際は、検査結果や合併症関連検査に結果を書き込んでいきましょう！

4. 手帳にはどんなことが書いてあるの？

血糖コントロールの目標や代表的な合併症について書かれています。合併症予防ポイントなども書かれているため、合併症を発症・悪化させないよう活用してください。

わたし達と一緒に頑張りましょう！



糖尿病は、目・腎臓・心臓・脳血管など**様々な合併症を起こす可能性があります。**
糖尿病と診断されたら「糖尿病連携手帳」を持ち歩き、受診の際などに**必ず手帳を提示しましょう！**